

利用者・企業の活用事例・取り込み例

自分の設備は自分が守る意識



自主保全士取得のメリットは、設備の専門家に任せず、**自分の設備は自分がしっかり守る意識が定着**したこと。その結果、設備がいかにとまらないようにするか、故障の未然防止はどのようにすれば良いかという意識が芽生えた。その結果、**ミスによる稼働停止件数が半減**。

(自動車系：T社)

製造部門・技術部門で、専門用語の共通化



当初は、製造部門の管理者やオペレーター・専門保全が受験対象であったが、**女性・若年層や技術部門にも対象を拡大**。自主保全士の有資格者の増加により、**専門用語への理解が深まり、使用する用語の共通化**ができた。

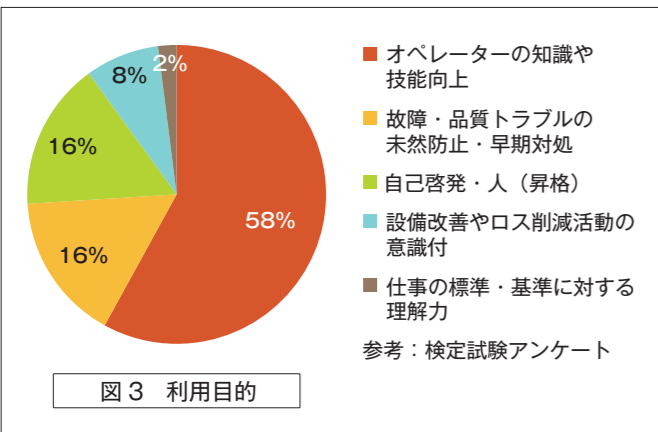
(非鉄金属系：R社)

他資格との相乗効果によるモチベーション向上



業務上必要な専門知識・技術習得を目的に資格取得を推奨。**自主保全士だけでなく、機械保全や機械加工の技能資格を合わせて持つ**ことで、理解度が深まり、生産現場に活かされている。これが、社員のモチベーションを向上させ、上位級の資格取得や、他技能取得につながる良いサイクルになっている。

(非鉄金属系：R社)



自主保全士100%取得を企業がバックアップ



自主保全活動を正しく理解し、実践するためのスキルを習得したことを確認するため、**職責者とオペレーター全員に、自主保全士の取得を目指す**。取得推進に際し、「合格者への資格取得支援金設立」、「テキスト無償配布」、「指導スキルに優れた講師の配属」、「受験指導会の開催」を行い、取得率がアップ。**企業のバックアップも重要**。

(化学系：A社)

自主保全士取得を昇格要件とした人事制度へ



クライアントの信頼関係構築のために自主保全士取得を推進しており、合格者が継続的に増加。その成果の背景には、取得に向けての試験対策サポートのほかに、**人事制度に、自主保全士取得要件を取り入れた**ことがあげられる。現場リーダーには2級、工程管理者には1級の取得を必須要件とし、クライアントからは業務クオリティが上がったと高評価だ。

(その他製造業：N社)

自主保全士成績優秀者受賞で高まる自信



自主保全士は、検定合格で終わりではなく、検定試験で**高得点の成績優秀者の表彰式典が開催**される。自社でも成績優秀者を輩出することができ、**職場の後輩への育成に自信**がついたようだ。社内の自主保全活動の維持・普及のためにも成績優秀者の受賞を目指す取り組みを行っていく。

(食料品系：M社)

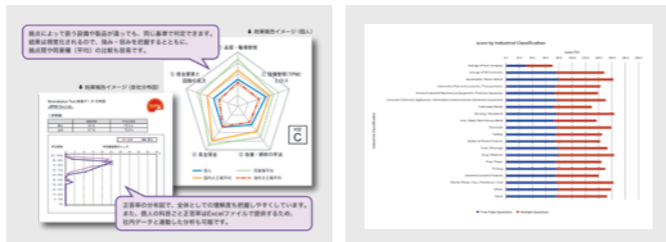
海外を対象とした Monodzukuri Test

グローバルな人材育成と 現場力の見える化！
海外拠点にも日本（マザー）と同じ知識を！

日本式の人材育成（教育+試験）で 効果的に人材育成
複数言語のテキストをご用意
同じページに同じ内容が掲載！



従業員の客観的な評価、レベルの把握+共通知識の定着
生産現場に必要な5教科で評価



生産分野向け試験 国内最大級資格！！

自主保全士認定制度

検定試験・通信教育・オンライン試験
海外向け Monodzukuri Test

かんたん早わかりガイド

公式サイト：<https://www.jishuhozenshi.jp/>



自主保全士全般に関わるお問合せ

公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 自主保全士事務局
TEL：03-6865-6081 Email:jishuhozenshi@jipm.or.jp

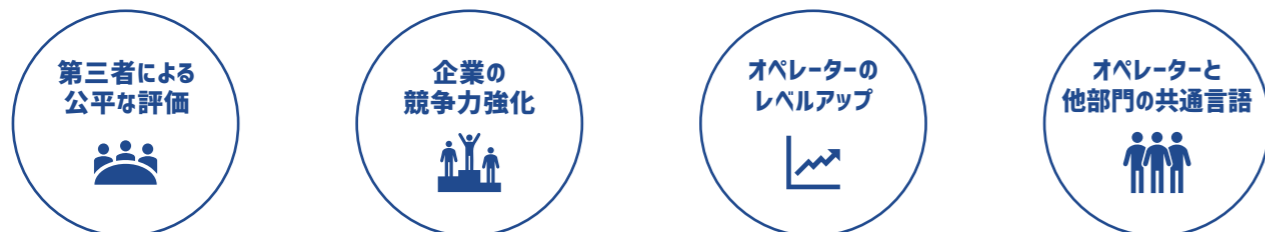
「自主保全士認定制度」の3つのポイント

① 自主保全士認定制度とは？

公益社団法人日本プラントメンテナンス協会では、4つの能力、ならびにそれを支え、かつ補完するものとして5つの知識・技能を兼ね備えた者を「設備に強いオペレーター」として認め、「自主保全士」として認定しています。

4つの能力	5つの知識・技能	級	想定される役割と求められる能力
1. 異常発見能力	1. 生産の基本	1 級	職場チーム（小集団）における中心的、リーダー的な存在となり、自主保全を展開する上での計画・立案と実践指導ができる
2. 処置・回復能力	2. 生産効率化とロスの構造	2 級	製造（生産）に関わる部門の一員として、自身の業務に従事しながら、自らが関わる設備や工程・作業について自主保全を実践できる
3. 条件設定能力	3. 設備の日常保全（自主保全活動）		
4. 維持管理能力	4. 改善・解析の知識		
	5. 設備保全の基礎		

② 自主保全士取得により期待できる効果



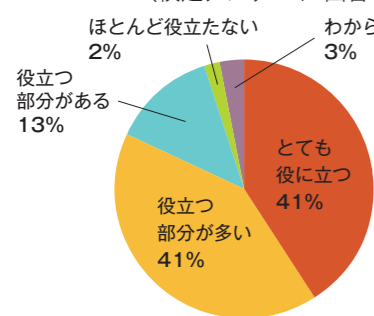
③ 実務につながる資格

学習ツールによる知識・技能の取得

公式テキスト | 受験準備講座（検定試験） | レポートによる添削指導（通信教育）

生産現場で活かせる学習内容

自主保全士の内容は実務に役立つと感じますか？
（検定アンケート 回答者数：12,615）



利用者の**95%**が実務に役立つ内容を含むと回答

成績優秀者表彰による意欲向上



※検定試験優秀者表彰式の様子

生産現場のオペレーターを育成してきた 幅広い製造業への活用実績とスケール

23年間の実績・約37万人（検定試験:約28万人、通信教育:約9万人）の利用者実績

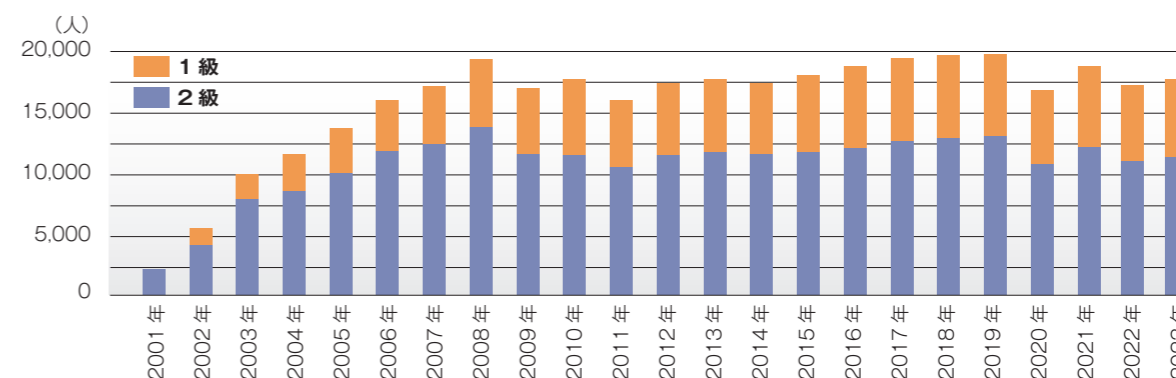
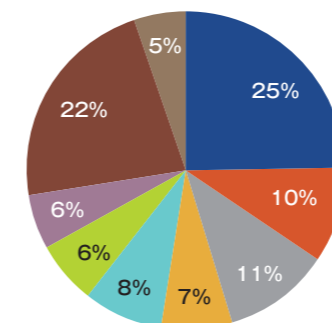


図1 級別申請者の推移（検定試験、オンライン試験、通信教育の合計）

※2021~2023年度オンライン試験の受験者数・認定者数は通信教育の実績に含みます

幅広い製造業の現場で活用



毎年 **450** 企業・団体での活用実績
累計認定者数 **22** 万人以上の製造現場への輩出実績

- 輸送用機器（自動車）
- 化学
- 鉄鋼・非金属
- ゴム・プラスチック
- 金属製品
- 食品
- 電気・電子部品
- その他製造業
- 製造業以外（エンジニアリング等）

図2 団体申込の業種別傾向

ライフスタイルに合わせて選べる3つの認定方法+海外向け Monodzukuri Test

集合型で受験する | 時間・場所を選んで受験可能な | 自分のペースで学べる

検定試験

オンライン試験

通信教育

各認定制度の詳細は、
公式サイトをご覧ください。



海外向け Monodzukuri Test



海外向け Monodzukuri Test の詳細は、
公式サイトをご覧ください。

